

証券コード：8566

事業のご報告

2012年3月期

(2011年4月1日～2012年3月31日)

リコーリース株式会社

CONTENTS

- P1. はやわかり！リコーリース
- P3. トップメッセージ／有川社長に聞くQ&A
**中期経営計画に基づく施策を進め
過去最高益を達成しました**
- P6. 事業レビュー
- P7. 2011年度の活動ハイライト
- P8. 最前線レポート
 - 1 地下水膜ろ過システム
 - 2 販売支援リース
 - 3 介護業界向け金融サービス
- P13. 連結財務諸表
- P15. リコーリース IRひろば
- P17. **NEWS** リコーリース CSRの取り組み
「DBJ環境格付」で最高ランクを取得
- P18. 会社情報・株主情報



はやわかり！リコーリース

当社の事業内容、特長・強みをご紹介します。

「リース・割賦事業」と「金融サービス事業」の2つの事業を軸に総合的なフィナンシャルサービス※をご提供しています。

※「リース・割賦事業」「金融サービス事業」より広義で、当社が提供するすべての商品・サービスの総称

リース・割賦事業

お客様の設備導入を支援する幅広いサービスを提供

- ファイナンス・リース
- オペレーティング・リース
- 割賦

金融サービス事業

お客様の経営や業務効率化を支援する金融サービスを提供

- 集金代行サービス
- 請求書発行代行サービス
- カード事業
- 法人向け融資
- 職域ローン
- ドクターサポートローン

POINT

重点分野を定めて、分野ごとに営業戦略を展開しています。

将来の成長分野への取り組みは？

→ P8. 最前線レポート1

POINT

独自性の高いサービスで収益基盤を強化しています。

具体的な取り組みは？

→ P11-12. 最前線レポート3

その他

車両及び輸送用機器

営業車、電気自動車
医療用検診車
フォークリフトなど



商業用及びサービス業用機器

レジ、ガスメーター、タイムレコーダー
計量器、包装機
ラベルプリンターなど



産業工作機械

印刷機械
部品製造機械など



取扱高の分野別内訳

医療機器

心電計、超音波診断装置
内視鏡、レセプトコンピューター
X線撮影装置
MRIなど



リコー関連

複写機・複合機、プリンター、ファクシミリ
ソフトウェア製品、デジタル印刷機など



POINT

リコー関連の取り扱いは約5割。
「販売支援リース（ベンダーリース）」という

独自の営業スタイルで、効率的な契約の獲得を進めています。

「販売支援リース（ベンダーリース）」とは？

→ P9-10. 最前線レポート2

事務用機器・情報関連機器

パソコン、ホストコンピューター
サーバー、会計システム
通信機器、ルーター
ソフトウェアなど



サービスの詳細はこちらをご覧ください。

www.r-lease.co.jp/service/

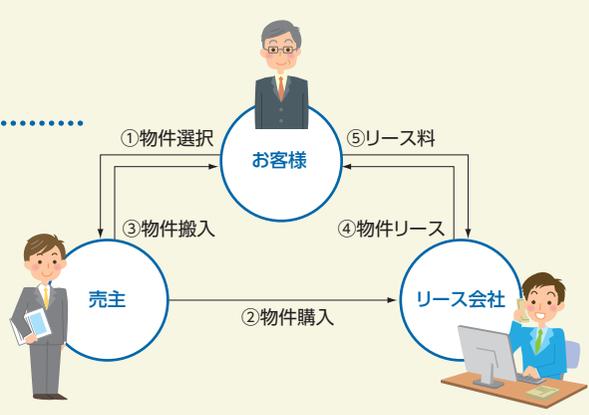
リコーリース コンサルティングサービス

検索

One Point

そもそもリースとは？

日本国内では「リース」とは一般的にファイナンス・リース取引のことを指します。ファイナンス・リースとは、お客様が選定された物件を(リース適格物件のみ)リース会社がお客様に代わって購入の上、リース期間中お客様に貸し出します。原則としてリース期間中の解約はできません。



特長・強み

リスク分散が経営の安定と成長に大きく寄与しています。

少額・大量契約で貸倒れリスクが分散された
優良な営業資産を形成

POINT 多数の企業とお取引することで
リスクを分散しています。

取引先社数：**40万社** (中小企業^{*1}比率98%) 取引先平均契約単価：**190万円** (業界平均260万円)

大量の契約を高効率・高品質に
処理する業務体制を構築

POINT 紙を使用しない審査システムなどの
IT活用と継続的な改善活動で、
高効率・高品質を追求しています。

年間契約件数：**40万件**

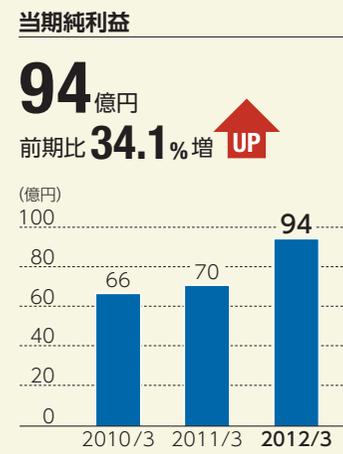
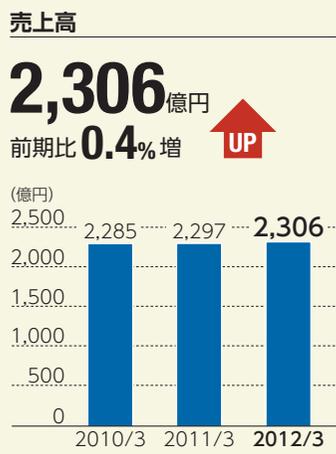
第三者機関から高い格付^{*2}を取得

POINT 高い格付を取得することで
好条件の資金調達を実現しています。

● S&P (Standard & Poor's) **A** ● R&I (格付投資情報センター) **A+** ● JCR (日本格付研究所) **AA-**

^{*1} 中小企業の定義：製造業の場合、資本金の額または出資の総額が3億円以下の会社ならびに常時使用する従業員の数が300人以下の会社および個人を指します。(中小企業庁)
^{*2} 格付：格付は公正な第三者である格付会社が、資金調達者の債務履行能力または個別債務(社債、ローン、CP等)の履行確実性を判定・表示したものです。格付は、格付会社が独自に定める格付記号によって表現され、比較可能となります。なお、上記は2012年3月31日現在のものです。

数字で見るリコーリース(2012年3月期) 注) 億円未満は切り捨て表示しています。



^{*}取扱高：リース、割賦および融資を契約実行した金額の総額

業績・財務状況の詳細い内容？ → P13-14. 連結財務諸表

トップメッセージ

中期経営計画に基づく施策を進め
過去最高益を達成しました。

当期の日本経済は、東日本大震災直後の最悪期の状態から、緩やかな回復の動きがみられるものの、欧州債務危機、円高などにより依然として先行き不透明な状態が続きました。

このような経済環境の中、当社グループにおいては、有力ベンダー※1に対する付加価値提供の強化、優良ユーザーへの営業活動強化、復興需要への対応や新規分野の開拓など、当期よりスタートした中期経営計画に基づく施策を進めた結果、取扱高は2,799億円(前期比13.0%増)、売上高は2,306億円(前期比0.4%増)となりました。そして、営業資産残高は5,743億円(前期末比5.3%増)

と前期を底に増加に転じることができました。

また、利益面では、貸倒引当金の大幅な減少に加え、資金原価の減少や再リース売上高の増加などにより、営業利益が168億円(前期比37.4%増)、当期純利益は94億円(前期比34.1%増)となり、2007年3月期以来、5期ぶりに最高益を更新しました。

当期の配当につきましては、前期比2円増配の41円とさせていただきます。これにより、上場以来、17期連続で増配となりました。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 CEO
有川 貞広



Q リース業界の動向とリコーリースの状況は？

A 厳しい環境が続くなか、いち早く成長路線に転じることができました。

リース業界では、近年、景気低迷による需要減退やリース会計基準変更の影響から取扱高の減少が続いていました。当期は東日本大震災からの復興需要もあり、業界全体の取扱高が前期に比べてほぼ横ばいと回復へ向かいつつあります。

こうしたなか、当社グループは業界に先駆けて取扱高が増加に転じ、当期は前期比2桁の伸びとなりました。これは、主軸である事務用機器・情報関連機器分野を中心に、**販売支援リース(ベンダーリース)※2**という独自の営業スタイルにより、「少額・大量」の契約を獲得できたことが大きく寄与しています。また、当社のリースをご利用いただいたお客様へ新たなサービスを提案するなど、顧客接点活動の強化が取扱高の増加に貢献しました。

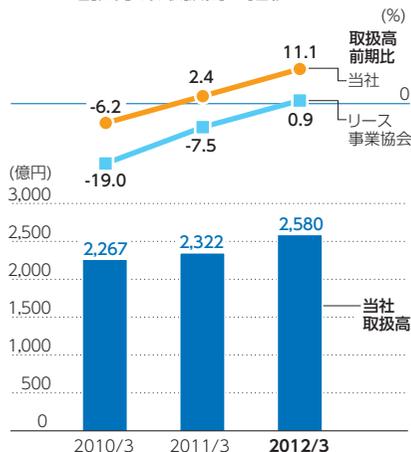
一方で、今後の新たな成長領域の創出に向けた取り組みも積極的に進めています。リース・割賦事業では、**地下水膜ろ過システム※3**や蓄電池など、社会や企業の要請により拡大が見込まれる分野の開拓が進展しました。また、金融サービス事業においても、「**介護報酬ファクタリングサービス※4**」をはじめとした介護市場向けビジネスや、「**リコーグローバルマネーカード※5**」など、独自性の高いサービスで市場開拓を進めています。

Q リスクマネジメントに対する社長の考えは？

A さまざまなリスクを見据え、リスク発生に備えた体制強化を進めています。

当社グループを取り巻くリスクを網羅的・統括的にとらえ、実効的なリスクマネジメントを実現するため、「リスクマネジメント委員会」を設置しています。管理すべきリスクを

リース・割賦事業取扱高の推移



語句解説

※1 ベンダー

リコーグループの販売会社、リコーの製品を扱う販売店、医療機器を扱う販売会社など重要なパートナー。

※2 販売支援リース(ベンダーリース)

ベンダーと当社が一体となって営業活動を行うリースビジネス。

[関連情報](#) P9.最前線レポート2

※3 地下水膜ろ過システム

震災などによる断水に備え、汲み上げた地下水をろ過することで飲料水として提供する装置。

[関連情報](#) P8.最前線レポート1

※4 介護報酬ファクタリングサービス

介護報酬の受け取りを早期化するサービス。

[関連情報](#) P11.最前線レポート3

※5 リコーグローバルマネーカード

海外専用のプリペイド式Visaカード。

[関連情報](#) P12.TOPICS

配当金の推移



財務体質の強化を図りつつ、長期的に安定した株主還元を基本方針に、配当を実施しています。



語句解説

※6 ALM (Asset Liability Management : 資産負債の総合管理)

資産と負債の最適な組み合わせを同時に決定し、総合的に管理する手法。

※7 事業継続計画

(BCP : Business Continuity Plan)

大規模災害など、事業が存続できなくなるリスクを事前に分析・想定し、継続に必要な最低限の業務や、復旧時間と対応策などを定めた行動計画。

※8 フィナンシャルサービス事業

「リース・割賦事業」「金融サービス事業」より広義で、当社グループの提供するすべての商品・サービスの総称。

東日本大震災への取り組み

復旧・復興に向け、2011年度は次のような取り組みを進めました。今後も「企業の設備投資を金融面で支援する」という本業を通じて、被災地域の経済復興に貢献していきます。

被災企業の支援

- 復興支援室の設置
- 復興支援リース・ローン

ボランティア活動

- 本社・支社の社員によるボランティア活動
- 社員のボランティア活動を支援する「支援休暇制度」の導入

寄付活動

- 株主優待品の変更に伴う義援金寄付
- 新規契約1件につき、100円の義援金寄付
- 社内中古パソコンのチャリティー販売による義援金寄付
- リース終了後の複写機などを自治体に寄付

特定し、重要度に応じてリスク管理のPDCAを廻しています。委員会では、各リスク項目の調査・監視および重大リスク発生に備えた体制整備を実施しています。加えて、高額案件等の信用リスクに関しては「審査委員会」、金利変動などの市場リスクに関しては「ALM※6委員会」を設置するなど、全社的なリスク管理を徹底しています。

事業継続計画 (BCP) ※7については、2004年度から策定を進めてきましたが、東日本大震災の経験を踏まえた想定条件を追加し、改善に取り組みました。

Q 今後の業績の見通しは？

A 中期経営計画を上方修正し、増収・増益を継続していきます。

経済環境は、緩やかな改善傾向にある一方、欧州債務危機や、原油高・電力不足、円高などによる設備投資需要への影響が懸念されます。こうしたなか、当社グループは「利益ある成長を続ける**フィナンシャルサービス事業※8**会社」を目標に、優良資産残高の増大、新しい成長領域の創出、高効率・高収益体質の更なる強化など中期経営計画を着実に推し進め、増収・増益を継続するよう努めてまいります。

また、環境の変化や計画の進捗を踏まえ、3か年の中期経営計画の最終年度となる2014年3月期の業績目標を上方修正しました。

業績の見通し

	2012年 3月期 (実績)	2013年 3月期 (予想)	前期比 (%)	2014年 3月期 (中計 当初計画)	2014年 3月期 (中計 修正計画)
売上高(億円)	2,306	2,350	1.9	2,300	2,400
営業利益(億円)	168	170	1.0	140	175
当期純利益(億円)	94	101	7.2	80	105
売上高 営業利益率(%)	7.3	7.2	-	6.1	7.3
ROA(%)	1.50	1.56	-	1.26	1.58

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なる場合があることをご通知おきください。

リース・割賦事業

既存分野の伸長、新規分野の開拓で取扱高が拡大
貸倒費用の減少などで大幅な増益を達成

ポイント

- 取扱高は、主要分野の事務用機器・情報関連機器で前期比6.0%増、医療機器で16.2%増と伸長
- 産業工作機械、商業用及びサービス業用機器、車両及び輸送用機器、その他の分野は取扱高が二桁の伸び
- 貸倒費用、資金調達費用の減少により大幅な増益

中期経営計画の重点施策

- ベンダー営業を軸とした優良な営業資産の増大
- 優良ユーザーへの接点営業強化
- 環境関連など新規分野の開拓強化
- 復興需要への対応

取扱高



売上高



セグメント利益



金融サービス事業

融資の伸長や集金代行サービスの拡大により
取扱高が初の200億円を超え、増収・増益を確保

ポイント

- 融資関連ビジネスは、住宅関連・医院開業向け・法人向け融資などが伸長し、取扱高が拡大
- 融資の営業資産は前期末比107億円増加の851億円に増加
- 受取手数料ビジネスは、集金代行サービスが順調に伸長

中期経営計画の重点施策

- 個人向け、法人向け融資の展開強化
- 専任営業部隊による大口顧客の獲得強化
- 介護・教育などの業界特化
- 新たな金融サービスの開発・展開

取扱高



売上高



セグメント利益



セグメント情報とは、取扱高、売上高、利益その他の財務情報を区分単位(=セグメント)に分別したものをいいます。当社には、リース・割賦事業と金融サービス事業の2つの事業報告セグメントがあります。

2011年度の活動ハイライト

リコーリースの2011年度の動向をカレンダー形式で紹介します。

ビジネス

- 「カーボンオフセットサポート」を販売開始
メディア掲載 ▶ 日経産業新聞(2011年4月6日付)

- 東北支社に復興支援室を設置



- 「ドクターヘリ」リースを開始



- 集金代行、大口に照準 地方営業拡大
メディア掲載 ▶ 日刊工業新聞(2012年3月2日付)

- ウェルシ社と業務提携
地下水戻ろ過システムのリースを開始
メディア掲載 ▶ 日刊工業新聞(2012年3月5日付)
関連情報 P8.最前線レポート1

羽野製作所と業務提携 大容量蓄電池のリースを開始

緊急災害や計画停電などへの対策として、官公庁や病院、一般企業などに向けて、羽野製作所が開発した大容量・低価格の蓄電システムのリースを開始しました。



- メディア掲載 ▶ 日本経済新聞 朝刊(2012年3月25日付)

2011

4月

- 2011年3月期 決算説明会を開催

5月

- 女性が活躍する会社ベスト100で69位に
メディア掲載 ▶ 日経WOMAN(5月号)

6月

- 第35回定時株主総会を開催(カーボンオフセット総会)
- 期末配当支払い
- 株主優待品を送付
- 「次世代認定マーク(通称:くるみん)」を取得(第3期)

7月

- 社会貢献型株主優待「緑の募金」寄付
関連情報 P15.リコーリースIRひろば

8月

- CSR報告書2011を発行

9月

- ピンクリボンスマイルウォークに各地で参加

10月

- 2012年3月期第2四半期決算説明会を開催

11月

- 富士山緑化活動
- 中間配当支払い
- 当社IRサイトが受賞

12月

- 関連情報 P16.リコーリースIRひろば

2012

1月

- 社員の家族介護、ボランティア活動を支援する「支援休暇制度」の導入
- 日本経済新聞社が主催する第15回環境経営度調査企業ランキングで金融部門3位、その他金融部門1位に
メディア掲載 ▶ 日本経済新聞 朝刊(2012年1月29日付)

2月

- 「東証IRフェスタ2012」に出展
関連情報 P16.リコーリースIRひろば

3月

- 東洋経済新報社が主催する第6回CSR企業ランキングで金融部門6位に
- 「DBJ環境格付」で最高ランクを取得
メディア掲載 ▶ 日経産業新聞(2012年5月9日付)
関連情報 P17.リコーリースCSRの取り組み

IR・CSR・社会貢献



CSR報告書2011



ピンクリボンスマイルウォーク(名古屋)

リース・
割賦
事業地下水膜ろ過システムのリースで
災害時の事業継続を支援地下水の活用で断水時に対応でき、
地域社会にも貢献する
ろ過システムのリースを開始

東日本大震災を機に、災害時の備えとして電気や水などのライフラインを確保するニーズが高まっています。こうしたなか、当社はウェルシ社が手がける「地下水膜ろ過システム」に注目し、そのリース販売を推進するため、業務・資本提携しました。

このシステムの導入により、企業や病院が独自に水を確保でき、災害時の事業継続計画(BCP)や、地域住民のライフラインとして社会に貢献できます。さらに、夏は冷たく冬は温かい地下水の特徴から、電気・ガスなどのエネルギー使用を抑制できるため、日常的な環境負荷低減やコスト削減にも寄与します。



山王台病院様に
導入した
ろ過システム



お客様の声

東日本大震災をきっかけに
地下水膜ろ過システムの導入を決めました。

当病院の透析センターでは、日常的に大量の水を利用しています。東日本大震災の際は断水で水の確保が非常に困難になりました。市との連携でことなきを得ましたが、患者様の命に関わるため、危機管理の観点から導入を決めました。リースの活用で初期投資を抑えることができ、運用面でもメーカーのサポートがしっかりしているため、安心して利用しています。

開発会社様の声 株式会社ウェルシ 様

当社の事業を共に発展させていこうとする姿勢に
多くの力を得ています。

当社は地下水膜ろ過システムのパイオニアとして1997年より販売展開して以来、独自開発の膜処理技術や24時間リアルタイムの遠隔監視による安心の運用サポートで高い評価を獲得し、現在900件以上に及び導入実績を有しています。リコーリース様には、2012年3月に弊社の株主になっていただくと共に、ネットワークを通じたご紹介やリースによる販売支援、広報活動など、多岐に渡るサポートをいただいています。何よりもありがたいのは、メーカーとしての私たちの取り組みを理解し、共に事業を発展させていこうとする姿勢です。震災以降、高まる需要への対応に加え、自家発電機などの新規事業も計画しており、当社のベストパートナーとして、さらなる力添えを期待しています。



代表取締役社長
福田 章一 様

リース・
割賦
事業販売会社様との連携で進める
独自の営業スタイル「販売支援リース」とは？

販売会社様との信頼関係を基盤に、
お客様に当社をご紹介いただくことで、
多数の契約を効率的に獲得していきます

当社の営業スタイルである「販売支援リース（ベンダーリース）」は、販売会社様とリース会社がパートナーとなり、お客様に営業活動を行います。販売会社様と一緒にお客様を訪問したり、また、販売会社様が物件の商談と同時に当社に代わってリース契約を行うこともあるのが特徴です。販売会社様のネットワークを活用することにより、「少額・大量」の契約を効率的に獲得することができます。

私たち営業担当者は、販売会社様の日々の業務をサポートし、確かな信頼関係を構築することが求められます。膨大な案件を効率的に処理しながら、コミュニケーションを大切にすることで、販売会社様と当社双方の成長に貢献したいと思っています。

私がお説明します！



営業本部 首都圏支社 東京営業2課

調 愛子

プロフィール

何もなければ自分からは動かないタイプなので、常に『何かある』会社で動き続けたかったこともあり、2010年4月に入社。現在3年目になります。

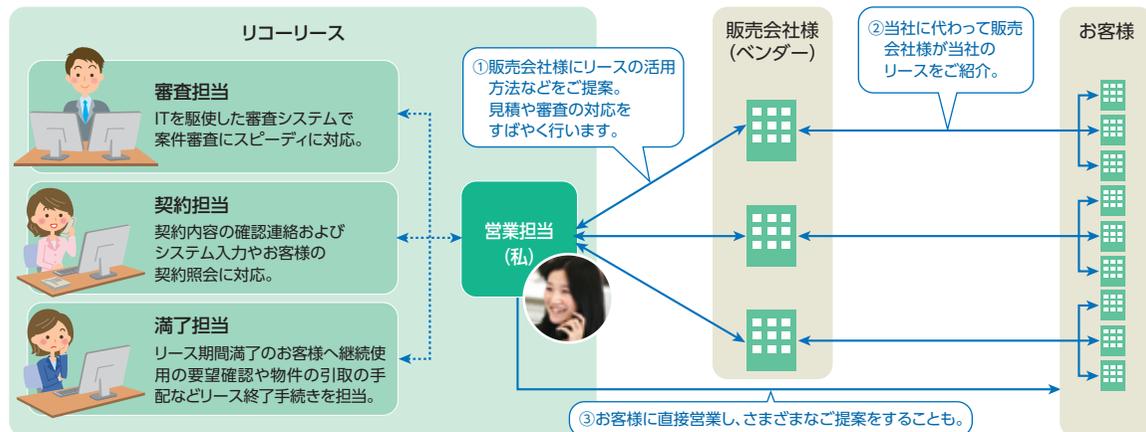
モットー

元気で楽しんで働くことです。そうすれば、難しいこともできる気がするからです。

将来の夢

お客様やベンダーの方々から「調さんに相談しよう」と一番に頭に思い浮かべてもらえる営業になることです。

■ リコーリースの販売支援リース



私のある1日の営業活動を紹介します

9:00

販売会社様からの問い合わせにすばやく対応!

販売会社様からの問い合わせが相次ぐ時間帯。見積の依頼を受けたり、審査状況の連絡をしたり、大量の案件にすばやく対応していきます。



13:00

複写機をリース契約されているお客様を訪問。見積依頼をいただく。

お客様の工場を訪れ、ものづくりの現場を垣間見ながら商談に臨みます。新たな設備投資の話題が浮上し、見積依頼をいただきました。



15:30

新規開拓の飛び込み営業も地道に行きます。

事前に訪問地域のデータベースを分析した上で、新規開拓のための飛び込み営業へ。いかにニーズを引き出せるかが成功のカギ。



17:00

販売会社様へ訪問。案件の確認に伺います。

リコージャパン様を訪問し、担当する100名以上の営業スタッフにヒアリング。案件を処理する傍らで、また新たな案件が発生していきます。



社員の仕事とワークスタイルはこちらからご覧いただけます。
<http://r-lease.recruitpage.com/work/>

リコーリース 仕事紹介 検索

リース・割賦事業の中期経営計画目標

主要分野である事務用機器・情報関連機器分野では、有力ベンダーとの関係強化、新規ベンダーの開拓を進めています。また、優良ユーザーへの提案営業を強化し取扱高の拡大を目指します。

事務用機器・情報関連機器分野の取扱高推移



リースによる被災地の復興支援

2011年3月の東日本大震災では、当社のお客様も多数被災されました。被災されたお客様を支援するため、同年5月、東北支社に「復興支援室」を設置しました。また、被災企業の事業再開を支援するため、販売会社様(ベンダー)と協力して「復興支援リース」の提供を行ってきました。被災地の復旧・復興に向けて、瓦礫撤去や市街地整備のための建設機械のリースに積極的に取り組むとともに、国内の電力不足や節電ニーズから発電機や蓄電池などのリースをスタートさせました。



TOPICS

金融 サービス 事業

多彩な金融サービスで 介護業界のお客様を支援



私がお説明
します!

金融サービス事業部
決済ソリューション営業部 介護ビジネス推進室

毛利 彰夫

プロフィール

2007年から金融サービス事業部で集金代行に携わり多くの介護事業者様と出会う。介護報酬ファクタリングサービスの企画など、介護事業者様の課題解決に取り組む。

モットー

24時間を本気で過ごす。魂に汗をかいて行動すること。

将来の夢

高齢者だけでなく若い世代やあらゆる人々が住み良い世の中になるよう、携わる介護事業を起点に金融面で社会貢献していきたい。

サービスのご利用者様からの
集金や機器のリースなど、
「お金」に関わる介護事業者様
のお悩みにお応えします

高齢化社会の進展とともに、介護マーケットが急激に拡大しています。

当社では、介護業界における新規参入時の資金調達ニーズにお応えするため、2011年10月に介護ビジネス推進室を新設しました。「集金代行サービス」や「介護報酬ファクタリングサービス」の提供、また機器のリースなど「お金」に関わるサービスをトータルでご提供しています。

介護事業者様の経営を支援するとともに、誰もが安心して老後を過ごせる社会づくりに貢献していきます。

お客様の声 ベストリハ株式会社 様

リースを活用した初期投資の抑制から資金回収の方法まで
経営者として魅力ある提案をいただき、助かっています。

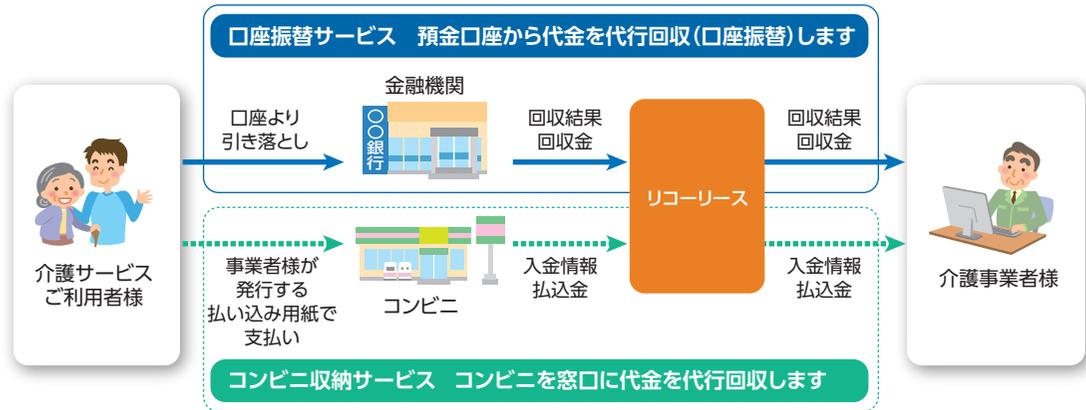
当社は本格的なリハビリを採り入れた“自立支援型”のデイサービス施設を2011年秋に開設しました。開設の際、リコーリースさんからいただいた提案は、ファクタリングサービスと集金代行サービスの利用に加え、車両やコピー機、リハビリ機器、パソコンなどの情報機器やソフトウェアまでをリースし、初期投資を抑制して手元資金を残すという魅力的なものでした。他社にも相談しましたが、リコーリースさんは1社ですべてのサービスを提供していることや、審査を含め熱意を持って対応いただけたこともあり、安心してお任せできました。リースで初期投資を抑え、ファクタリングで報酬の早期資金化ができるというのは、経営的にとても助かっており、オープン予定の新店舗でも引き続きお願いしたいと考えています。



代表取締役 理学療法士
渡邊 仁 様

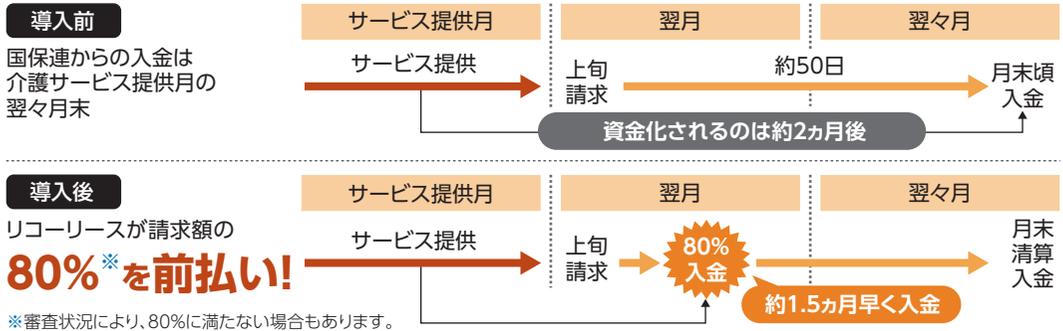
■ 集金代行サービス

提携する金融機関・郵便局やコンビニエンスストアとのネットワークを活かし、「口座振替サービス」と「コンビニ収納サービス」の2種類のサービスで、お客様の集金業務を代行します。



■ 介護報酬ファクタリングサービス

介護報酬の9割は国民健康保険団体連合会(国保連)から支払われます。その入金には約2カ月かかりますが、当社が債権を買い取り、介護事業者様に前払いすることで、早期の資金化を実現します。



WEB 介護報酬ファクタリングサービスの詳細はこちらからご覧いただけます。

www.rl-shukin.jp/service/kaigo/

TOPICS

海外出張の経費精算業務を軽減する 「リコーグローバルマネーカード 法人契約プラン」



金融サービス事業部
事業統括室
高山 真希子

日本企業の海外進出が進んでおり、海外出張が頻繁に行われるようになりました。海外専用の前払(プリペイド)式Visaカード「リコーグローバルマネーカード」は、事前に国内の専用口座に入金いただくと、海外でATMから現地通貨を引き出したり、ショッピングが可能となります。また、外貨調達や現地での両替、海外送金、経費精算などの事務を効率化する海外出張支援ツールとしてご活用いただける、法人契約プランも取り扱いを開始しました。



世界200カ国・190万台以上の「Visa」,「PLUS」のマークがあるATMで利用可能

WEB カードの詳細はこちらからご覧いただけます。

www.r-lease.co.jp/globalmoney/

連結財務諸表

売上高

割賦売上高などの増加により、増収を確保

前期比 **0.4%** 増 **UP**

売上高は、前期比9億円増加の2,306億円となりました。当期のリース取扱高は236億円増加したものの、前期までのリース資産残高の減少が響き、リース料収入は前期比36億円減少しました。一方で割賦売上高は47億円増加し、営業貸付収益、受取手数料も順調に増加しました。

売上高の推移



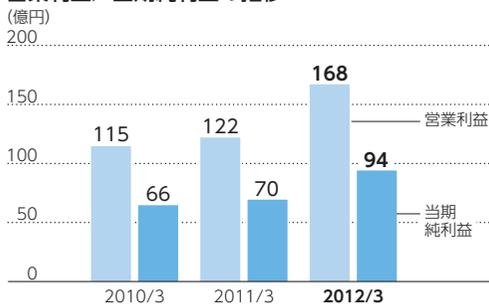
営業利益・当期純利益

貸倒費用の減少などにより3期連続増益
過去最高益を更新

営業利益 前期比 **37.4%** 増 **UP** 当期純利益 前期比 **34.1%** 増 **UP**

営業利益は、前期比45億円増加の168億円となりました。前期に計上した東日本大震災関連の貸倒費用30億円の計上がなくなったことや、政府の金融支援策の効果などにより貸倒費用が前期比52億円減少しました。また、資金原価の減少や再リース売上高の増加により大幅な増益を達成しました。当期純利益は、前期比23億円増加の94億円となりました。

営業利益／当期純利益の推移



連結損益計算書

(単位:億円)

科目	前期	当期
	2010年4月 1日～ 2011年3月31日	2011年4月 1日～ 2012年3月31日
売上高	2,297	2,306
リース料収入	1,921	1,885
割賦売上高	137	185
営業貸付収益	19	21
受取手数料	27	28
その他の売上高	191	186
売上原価	1,997	2,007
リース料原価	1,676	1,646
割賦原価	126	172
資金原価	31	25
その他の売上原価	163	162
売上総利益	299	298
販売費及び一般管理費	176	130
営業利益	122	168
経常利益	121	168
税金等調整前当期純利益	121	168
当期純利益	70	94

連結包括利益計算書は、包括利益と四半期純利益との差異が小さいため、当報告書では省略しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科目	前期	当期
	2010年4月 1日～ 2011年3月31日	2011年4月 1日～ 2012年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	222	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198	126
現金及び現金同等物の増減額	15	△10
現金及び現金同等物の期首残高	4	20
現金及び現金同等物の期末残高	20	9

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期比351億円支出が増加し、129億円の支出となりました。リース債権及びリース投資資産が前期を底に増加に転じ、また営業貸付金も増加したことが主な要因です。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済、CP発行、長期借入金の調達、配当金の支払いなどで126億円の収入となりました。



連結財務諸表についての詳細は、ホームページをご覧ください。

www.r-lease.co.jp/ir/finance/

リコーリース ハイライト 検索

連結貸借対照表

(単位:億円)

科目	前期末 2011年3月31日	当期末 2012年3月31日
資産の部		
流動資産	6,035	6,267
現金及び預金	20	9
割賦債権	450	474
リース債権及び リース投資資産	4,180	4,287
営業貸付金	776	925
その他の営業 貸付債権等	757	715
貸倒引当金	△150	△145
固定資産	135	141
賃貸資産	84	93
社用資産等	25	23
投資その他の資産	25	24
資産合計	6,171	6,409

負債の部

流動負債	3,194	2,550
支払手形及び買掛金	174	194
短期借入金・CP	1,466	1,378
1年内返済予定の 長期借入金	1,077	506
支払引受債務、その他	476	471
固定負債	1,957	2,757
長期借入金・社債	1,922	2,719
その他	35	38
負債合計	5,152	5,308

純資産の部

株主資本	1,015	1,096
その他の包括利益累計額	1	0
少数株主持分	2	2
純資産合計	1,018	1,100
負債純資産合計	6,171	6,409

億円未満の数値は切り捨て処理しており、各科目の合計と合計欄の数値が一致しない場合があります。

語句解説 CP(コマーシャルペーパー)：1年以内の返済を約束する約束手形。

ROA(総資産当期純利益率)：当期純利益÷総資産 当社が目指す高収益体質の重要指標と位置付けています。

営業資産残高

リース資産の増加などにより、反転・増加

前期比 **288**億円(5.3%)増 **UP**

営業資産残高[※]は、前期末比288億円増加の5,743億円となりました。リース資産が115億円増加したことに加え、割賦が24億円、営業貸付金が149億円増加したことにより、前期末までの営業資産の減少を食い止め、増加に転じることができました。

※営業資産残高5,743億円と連結貸借対照表の割賦債権・リース債権及びリース投資資産・営業貸付金・賃貸資産の合計額が異なりますが、営業資産残高の割賦債権には未実現利益(利息相当分)が含まれないためです。

営業資産/ROAの推移



有利子負債

営業資産の増加に伴い、有利子負債が増加

前期比 **139**億円(3.1%)増 **UP**

有利子負債は前期末比139億円増加し4,604億円となりました。短期借入金・CPIは87億円、1年内返済予定の長期借入金は570億円減少する一方、長期借入金・社債は797億円増加しました。

有利子負債/自己資本比率の推移



リコーリース IRひろば

株主の皆様からの声をIR活動の充実に活かしてまいります。

前回(2012年3月期第2四半期 事業のご報告)の発行の際に、株主の皆様へIR活動に関するアンケートを実施したところ、2,033名の方々からご回答をいただきました。あらためて感謝申し上げますとともに、これからも一層株主の皆様のご意見を活かしたIR活動に取り組んでまいります。

株主の皆様からのご質問

Q 株主が社会貢献活動に参加できる株主優待とはどのようなものですか？

当社では、3月末日に100株以上保有されている株主様に優待品として「クオ・カード」を贈呈しています。優待品発送の翌年3月末に、株主の皆様のクオ・カードのご使用額を集計し、その金額に応じ算定した金額を、緑化活動を推進する(社)国土緑化推進機構が行っている「緑の募金」に当社の負担で寄付しています。優待品であるクオ・カードをご使用いただくと、間接的に株主の皆様も社会貢献活動にご参加いただける仕組みです。2011年7月には、151万円の寄付を実施しました。ぜひ本年度も優待品を積極的にご使用ください。

株主の皆様がクオ・カードで買物をしていただくと…

ご使用額に基づき算定した金額をリコーリースの負担で「緑の募金」へ寄付します。



クオ・カードは商品券として全国約45,000店舗でご利用いただけます。



寄付金は、国内外の緑化活動や森づくりに携わる人材の育成などに活かされています。

WEB 「株主優待」については、こちらからご覧いただけます。
www.r-lease.co.jp/ir/yutai.html

リコーリース 株主優待 検索

「事業のご報告」に寄せられたご意見

集金代行サービスは父兄会や町内会費の集金にも使えると便利です。

介護事業の最前線レポートがほしいです。

社長、役員、管理職、新入社員の「ある日の1日」のコーナーを作り、株主に親近感を持たせてほしい。

集金代行サービスは父兄会や町内会費のほか、個人のサークル活動などにもご利用いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。

WEB www.r-lease.co.jp/shukin/
リコーリース 集金代行 検索

介護業界向けの最新の取り組みについて掲載しました。

P11-12

販売支援リリースに携わる営業社員の1日を掲載しました。

P9-10

写真・イラストも有効に使用されており、わかりやすい内容だった。

「最前線レポート」のコーナーで各種事業内容や社員の方々の働きぶりを知ることができました。次回も続けてほしいです。

財務諸表がいろいろ解説されて非常に読みやすく興味がわきます。

WEB アンケートの集計結果や株主の皆様から寄せられたさまざまなご意見・ご感想をご覧いただけます。
www.r-lease.co.jp/ir/individual/enquete.html

リコーリース 結果報告 検索

IR活動トピックス

「東証IRフェスタ2012」に出展

3月9日、10日に開催された東証IRフェスタは、70社を超える上場企業が出展し、2日間で約14,500名の方々が来場されました。当社の展示ブースでは、事業内容や環境への取り組みなど、展示パネルやモニターを使ってご説明しました。また、有川社長による会社説明会では、当社の会社概要、業績や特長、事業内容などについて講演を行いました。



展示ブースの様子



有川社長による
プレゼンテーション

WEB 当社のIRに関するイベント情報はこちらからご覧いただけます。
www.r-lease.co.jp/ir/presen.html

リコーリース イベント 検索

当社のIRサイトが受賞

大和インベスター・リレーションズ株式会社主催の「2011年インターネットIR・ベスト企業賞」において、ベスト企業賞を受賞しました。また、日興アイ・アール株式会社主催の「2011年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、総合で13位、その他金融業部門で1位にランキングされました。



大和インベスター・リレーションズ
ベスト企業賞 表彰式

WEB 当社のIRサイトはこちらからご覧いただけます。
www.r-lease.co.jp/ir/

リコーリース IR 検索

当社の株主総会・決算説明会の模様をIRサイトでご覧いただけます。

参加できない株主様・投資家の皆様への公平性、利便性向上を図るために、IRサイト上で動画配信を行っています。

● 株主総会



業績報告のほか、中期経営計画を中心に、中長期の展望などについてご説明しています。

WEB www.r-lease.co.jp/ir/stock/shmeeting.html

リコーリース 定時株主総会 検索

● 決算説明会



4月、10月に機関投資家・アナリスト向けに開催し、業績総括や今後の経営戦略について報告しています。

WEB www.r-lease.co.jp/ir/ir/meeting.html

リコーリース 決算説明会 検索

当社の商品・サービスがわかる動画サイト「リコーリースの法則」をご紹介します。



画面イメージ

イメージキャラクター「リコーリースの法則くん」が、お客様のお悩みを伺い、解決策をご提案するというストーリーで、当社のさまざまな商品・サービスをご紹介します。楽しみながら、理解を深めていただけます。

WEB www.r-lease.co.jp/housoku/

リコーリースの法則 検索

リコーリース
CSRの
取り組み
vol.3

「DBJ環境格付」で 最高ランクを取得

DBJ環境格付に基づく初の環境配慮型証券化を実施

DBJ環境格付とは？

「DBJ環境格付」は、日本政策投資銀行(DBJ)が企業の環境経営度を評点化し、優れた企業に対して得点に応じた投融資条件を設定する格付システムです。「環境格付」の専門手法を導入した投融資メニューは、世界でも初めての取り組みです。

最高ランクの評価理由は？

当社は環境経営計画の遂行に当たり、独自の環境経営度評価システムによる自己評価を行い、毎年の改善を通じて環境マネジメントシステムの高度化を進めてきました。こうした体制のもと、全社を挙げて事業活動における環境負荷の低減に取り組んできたことが、当社が環境負荷の少ない効率的なリースサービスを提供していると評価され、最高ランクの格付につながりました。

語句解説

※CSR(Corporate Social Responsibility)：企業が社会に対して果たすべき責任。

社員に 聞く！

環境格付で最高ランクを取得したことによるメリットは？

最高ランク取得により、通常よりも有利な条件での資金調達ことができました。

「DBJ環境格付」の取得は、環境経営について高い外部評価を得たというだけでなく、資金調達上のメリットにもつながりました。当社は資金調達の多様化を図り、2012年3月にリース料債権の証券化*を実施、DBJより資金を調達しました。この証券化の特徴は、DBJ環境格付で最高ランクを取得し、環境配慮型機器のリースに係るリース料債権(以下「エコリース債権」)を主な裏付資産としたことです。エコリース債権の抽出には苦労しましたが、環境格付で高い評価を得たことと、「環境配慮型証券化」の認定を受けたことで、調達条件の改善につながりました。当社はこの資金を活かして、エコリースのさらなる普及促進を図ります。

※証券化

企業などが保有する資産を裏付けにして有価証券を発行し、投資家に売却して資金を調達する手法



日本政策投資銀行(DBJ)より認定証が授与されました
左より当社CSR本部長 清見常務、(株)日本政策投資銀行
常務執行役員 山本直人様、当社経営管理本部長 長田常務

こうした取り組みが評価されました



ごみの削減・分別を
徹底して
オフィスの
環境対応を促進

紙文書の
デジタル化により
審査業務の紙使用量を
大幅に削減



新入社員への
エコドライブ研修や
エコドライブコンテストを
開催し、営業車のガソリン
使用量を3年間連続で削減



経営管理本部 財務部 大館 大

会社情報・株主情報

会社概要 (2012年3月31日現在)

商号	リコーリース株式会社 (RICOH LEASING COMPANY, LTD.)
本社所在地	〒135-8518 東京都江東区東雲1-7-12
資本金	7,896百万円
上場市場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 8566)
従業員	904名(連結)
設立	1976年(昭和51年)12月
事業内容	リース・割賦事業 金融サービス事業
財務局ナンバー	関東財務局長(10)第00286号

役員 (2012年6月20日現在)

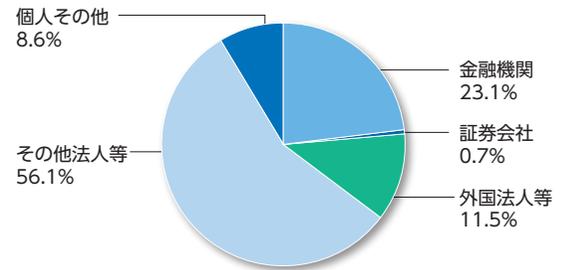
取締役	執行役員
取締役 富樫 和男	会長執行役員 富樫 和男
代表取締役 有川 貞広	社長執行役員 CEO 有川 貞広
取締役 打込 愛一郎	専務執行役員 打込 愛一郎
取締役 長田 泰賢	常務執行役員 長田 泰賢
取締役 我妻 一紀	常務執行役員 清見 純子
	常務執行役員 吉川 淳
監査役	執行役員 真鍋 求
常勤監査役 重山 荘平	執行役員 中嶋 祥行
社外監査役 皆川 邦仁	執行役員 武藤 裕文
社外監査役 大澤 洋	執行役員 梨木 隆志
社外監査役* 小林 貞五	執行役員 橋本 知明

*印を付した監査役は株式会社東京証券取引所の定める独立役員です。

株式の状況 (2012年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	120,000,000 株
発行済株式の総数	31,243,223 株
株主数	15,207名(単元株主数 14,449名)

株式分布状況(所有者別) (2012年3月31日現在)



大株主上位10名 (2012年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リコー	14,638	46.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,706	5.47
全国共済農業協同組合連合会	1,233	3.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,082	3.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	901	2.89
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	825	2.64
リコージャパン株式会社	763	2.44
三菱石油株式会社	569	1.82
コカ・コーラウエスト株式会社	502	1.61
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	301	0.97

*持株比率は自己株式(26,004株)を控除して計算しております。

営業拠点 (2012年3月31日現在)

北海道から沖縄まで、リコーリースは日本全国の地域をカバーしています。

北海道	札幌/旭川
東北	仙台/盛岡
関東	東京(本社・テクノレント) 立川/横浜/千葉/さいたま 宇都宮/水戸
中部	名古屋/静岡/金沢
関西・四国	大阪/神戸/京都/高松/松山
中国	広島/岡山
九州	福岡/熊本/那覇



各営業拠点の住所と連絡先は、こちらをご覧ください。
www.r-lease.co.jp/info/company/index2.html

リコーリース 事業所一覧 検索

表紙写真について



「ブルーキュリオサ」

6月の誕生花であるバラは、人との関わりは古く、紀元前から園芸栽培が行われ、現在、3万種もあると言われていています。表紙の「ブルーキュリオサ」は、ユニークな品種開発で知られるオランダのブリーダー（育種家）により生み出されたバラで、華やかさと落ち着きを兼ね備えた独特の色彩から、多くの愛好家に親しまれています。

リコーデジタルカメラ「GXR」で撮影しました



GXR

GXRは、本体とカメラユニットで構成される、新しいカメラシステムです。複数のカメラユニットは、焦点距離の異なるレンズと最適化した撮像素子、画像処理エンジンを搭載し、これを交換することにより、多彩なシーンに対応できます。

WEB リコーデジタルカメラ「GXR」についての詳細は、こちらをご覧ください。
www.ricoh.co.jp/dc/gxr/

リコーデジタルカメラGXR

本冊子は、環境や読者の利便性に配慮した制作を心掛けています。



水なし印刷

廃液が有害物質等を含む現像液や湿し水を使用しない、環境にやさしい印刷方式「水なし印刷」を採用しています。



VOCフリーインク

石油系溶剤を植物油成分に100%置き換えた[VOC成分ゼロ型インク]を使用しています。



FSC®認証紙

適切に管理された認証森林からの木材を使用した用紙が使われています。



カラーユニバーサルデザイン

色覚の個人差を問わず、多くの方に情報がきちんと伝わるよう配慮されたカラーユニバーサルデザインの認証を取得しています。

糊付製本

冊子のページを綴じるのに針金を使用せず糊付で製本しています。不要になった際に、そのまま資源として古紙回収に出せるため効率的にリサイクルすることができます。



カーボンオフセット

冊子を制作した際に排出したCO₂ 2,322kgは、一般社団法人日本カーボンオフセットを通じてオフセット（相殺）され、地球温暖化防止に貢献します。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
 単元株式数 100株
 公告の方法 当社ホームページに掲載する。
<http://www.r-lease.co.jp/>
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
 証券コード 8566

株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 ☎0120-176-417
 三井住友信託銀行ホームページ <http://www.smb.jp/personal/agency/index.html>

ご案内 | 株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
 証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

リコーリース株式会社

〒135-8518 東京都江東区東雲1-7-12

お問合せ先：経営企画室 TEL：03-6204-0608 E-mail：ir@rle.ricoh.co.jp

<http://www.r-lease.co.jp/>